

地域と医療を結ぶ広報誌

風によせて

Shirakawa Kosei General Hospital

VOL.

62

2022.4

KAZENI
YOSETE



新人オリエンテーション

CONTENTS

- ごあいさつ 2
- 登録医療機関の紹介 3
- 初期臨床研修についてのご理解とお願い... 3
- こんにちは！新任です 4
- はじめまして！研修医です 5

- 特集 6
- 院内ニュース 7
- 在宅訪問診療、始めました！ 8

特集

ピロリ菌って何？



JA福島厚生連
白河厚生総合病院



ごあいさつ salutation



病院長
農村健診センター所長
大木 進司



今月の表紙
Cover Story

【 新人オリエンテーション 】

今年も新たな仲間が加わりました。皆様よろしく願いいたします!!

「医療と戦争」

吹く風が日に日に暖くなり桜の開花が待ち遠しい今日この頃ですが、日本から数千キロ離れた異国の地では戦争が行われ、毎日多くの人が傷ついています。今回の戦争でロシアとウクライナの歴史をあらためて学んだ人も多いと思います。ウクライナ問題は根の深い問題です。歴史をさかのぼればさかのぼるほど一筋縄ではいかないことが見えてきます。どちらの主張が正しくて、どちらに正義があるのか、私たちは日本で手に入る情報や映像を通して判断するしかありませんが、その情報すらも統制されているロシア国民は何を拠り所に自分の価値観や思想を保っているのでしょうか。どちらが正しいかという議論は別にしても戦争という行為そのものを肯定する人は少ないと思います。

一方で医療と戦争が切り離せない歴史をたどってきたのもまた事実です。近代看護の創始者といわれたナイチンゲールもまた戦火の中で負傷者の看護にあたりました。クリミア戦争下の野戦病院で看護婦総責任者として献身的な看護活動に従事し「クリミアの天使」「ランプの貴婦人」と称えられたのはご存知の方も多いと思います。野戦病院では革新的な衛生管理や健康管理を行い、兵士の死亡率を40%からわずか2%に改善させました。しかし彼女の医療への貢献はむしろその後です。野戦病院での現状分析において医療現場の可視化と数値化のために医療統計学を生み出し、専門的教育を体系化し世界初の看護学校を設立しました。現在も使われているナースコールやナースステーションの原型を考案したのも彼女です。彼女の思想や遺したものは100年以上過ぎた現代の看護の現場で生かされ、語り継がれています。

また、現在各外科系領域の先進的治療の一つにロボット手術があります。手術用ロボット開発の端緒は核物質の遠隔操作作用のマニピュレーター（ロボットアーム）です。このマスタースレイブ技術（遠隔操作技術）はその後深海探査船や、NASAの宇宙ステーションのロボットアームに転用され発展しました。1980年代後半、アメリカ国防総省は戦時における衛生兵をロボットに置き換え人道的惨事を最小限に抑えるため、医療用ロボットの開発に巨額の投資を行い、これを背景に技術開発が加速しました。こうして開発された手術用ロボットは2017年時点で世界で4000台以上が稼働し年間90万人以上の患者さんがその恩恵を受けています。日本においてもあらゆる領域で保険診療が認められ普及が加速しています。ロボット支援下手術のメリットは第一に身体への負担が少ないということ、術者が拡大された立体画像を見ながら、手ぶれを自動補正された大きな動きで、細かな手術操作を繰り返していきます。高精度の映像でより細部まで確認でき、従来の手術では届きにくかったところまでロボットのアームが届き、実際の手では困難な動きも可能とします。福島県においても8台のロボットが導入されており今後益々の発展が期待されています。

このように戦争の歴史の中で医療が進歩した事実は皮肉なものではありますが、私たちは先人達の努力に敬意を払いつつ手にした医療技術を人々の健康のため、病める人を苦しみから救うため、これからの更なる医療の発展のために有効に利用していかなければなりません。時代がどのように変わっても私たち医療者は医の原点を忘れてはならないのだと思います。

白河厚生総合病院について

基本 理念

地域を守り地域の皆様に
愛される病院を目指します

基本 方針

- 私たちは
- 一、医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します
 - 一、県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます
 - 一、患者さんを全人的に理解し、優しさと思いやりをもって接します
 - 一、十分に説明をし、患者さんの意志を尊重した医療を実践します
 - 一、使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます

当院は、JR白河駅より郡山方面へ徒歩約3分の旧市内にあり、平成8年11月1日に開業しましたので、25年を経過しております。

主診療科目は、循環器内科および内科全般です。旧市内は人口が減少し、若年層が少なく高齢者が多い年齢構成になっています。患者さんも高齢者が多くなります。このため、高血圧症、糖尿病、脂質異常症やこれらに伴う脳心腎血管疾患等を診ることになります。スクリーニング検査（血液、X-P、ECG、ホルターECG、脈波検査、心エコー、血管エコーなど）を行い、更に精査治療の必要なときは白河厚生総合病院へお願いすることになります。



診療情報

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	8:30 12:00	休診
14:00~18:00	○	○	休診	○	○	休診	

診療科目

循環器科・内科・呼吸器科
消化器科・心療内科

- 住所／〒961-0074 福島県白河市郭内 12-14
- TEL／0248-24-1011 FAX／0248-22-2627
- 院長名／東原 康文（つかはら やすのり）

初期臨床研修についてのご理解とお願い

当院では、医師法第16条2に基づく基幹型臨床研修病院として、次世代の医師（研修医）を育成しております。将来にわたり患者さまに安全・安心な医療を受けていただくためには、研修医の存在は必要不可欠です。研修医は実習を通じて患者さんとの関わりを学ばせていただきます。そのため、外来や入院において、患者さまを指導医の指導のもと診察させていただくことがあります。指導医をはじめ多職種の職員が研修医の指導にあたります。引き続き、研修医の育成にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



こんにちは!

新任です



白河厚生総合病院では、新しくとても優秀な先生が、新任、転任されました。

総合診療科

三倉 直 (みくら すなお)

【出身地】宮城県



趣味・娯楽 ● 子供とお菓子作り
略 歴 ● 平成21年 宮崎大学卒業
資格・専門 ● 内科認定医、心電図検定2級

スペシャリストを尊敬する、ジェネラリストでありたいと思っています。趣味はあまりありませんが、よろしくお願いいたします。

総合診療科

吉田 健二 (よしだ けんじ)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 動物園・水族館巡り
略 歴 ● 平成20年 山形大学卒業
資格・専門 ● 総合内科専門医、神経内科専門医、頭痛専門医

前任地では脳神経内科を専門にしていました。総合診療科は初めての勤務です。一日でも早く慣れるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

第二内科(循環器内科)

渡邊 俊介 (わたなべ しゅんすけ)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 家族旅行
略 歴 ● 平成22年 福島県立医科大学卒業
資格・専門 ● 内科認定医、CVIT認定医

循環器内科医として精一杯頑張ります。

総合診療科

加藤 常充 (かとう つねみち)

【出身地】秋田県



趣味・娯楽 ● スキー、キャンプ、お酒
略 歴 ● 平成25年 自治医科大学卒業
資格・専門 ● 内科認定医、内科全般

みなさま、はじめまして。自治医科大学より来ました加藤と申します。これまで、秋田で内科全般を地域で診療してきました。少しでも地域のお役に立てるように尽力します。よろしくお願いいたします。

皮膚科

渡邊 幸奈 (わたなべ ゆきな)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● クラシックバレエ、映画鑑賞
略 歴 ● 平成28年 川崎医科大学卒業
資格・専門 ● 皮膚科一般

地元白河で働くことができ、とても嬉しいです。白河の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

小児科

木村 菜央 (きむら なお)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 音楽、食べること
略 歴 ● 平成29年 福島県立医科大学卒業

白河での勤務は初めてですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

外科

新國 僚祐 (にいくに りょうゆう)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 寝ること
略 歴 ● 平成29年 東北大学卒業
資格・専門 ● 一般外科

地域の皆様と、病院のお役に立てるよう、精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

産婦人科

村松 七生 (むらまつ ななお)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● カラオケ、ライブ
略 歴 ● 平成30年 福島県立医科大学卒業

白河市で働くことは初めてなので未熟者ではありますが精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。

外科

陳 夢格 (ちん めいかく)

【出身地】中国



趣味・娯楽 ● 映画、読書、料理
略 歴 ● 平成31年 東北大学卒業
資格・専門 ● 外科一般

消化器分野に興味があり、外科の道に進みました。白河の地域医療に貢献できるように精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

第二内科(循環器内科)

廣坂 諒 (ひろさか りょう)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 音楽鑑賞、読書、ゴルフ
略 歴 ● 平成31年 聖マリアンナ医科大学卒業
資格・専門 ● 循環器一般

まだまだ若輩者であり、至らない点多々あると思いますが、日々成長できるように努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

第三内科

関川 尚大 (せきかわ なおひろ)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 野球、将棋
略 歴 ● 平成31年 東北大学卒業

患者さんのお力になれるよう、日々努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

整形外科

大槻 紀亜良 (おおつき きあら)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 最近、太らないように頑張っているようにしております
略 歴 ● 平成31年 福島県立医科大学卒業

まだ使いものになりませんが、今年一年間での成長を期待して下さいます。

泌尿器科

宇佐見 毅 (うさみ つよし)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● スポーツ観戦(主に野球、サッカー)
略 歴 ● 平成31年 岩手医科大学医学部卒業
資格・専門 ● 泌尿器科

初めまして。東北大学病院から来ました宇佐見毅と申します。白河ならではの疾患や手技、検査等、学ぶことは多いですが、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

眼 科

村上 裕也 (むらかみ ゆうや)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● ドライブ、ワカサギ釣り
略 歴 ● 平成30年 福島県立医科大学卒業
資格・専門 ● 眼科

4月より眼科に着任致しました村上裕也と申します。白河市の眼科医療の一助となれるよう、最大限努力してまいります。よろしくお願い致します。

麻 酔 科

松本 木綿子 (まつもと ゆうこ)

【出身地】福島県



略 歴 ● 平成31年 獨協医科大学卒業
資格・専門 ● 麻酔科一般

よろしくお願いします。

第一内科

笹崎 智也 (ささざき ともや)

【出身地】宮城県



趣味・娯楽 ● ドライブ、カラオケ
略 歴 ● 平成30年 山形大学卒業

微力ながら白河の医療に貢献できるよう精一杯努めさせていただきます。よろしくお願いします。

総合診療科

吉野 正人 (よしの まさと)

【出身地】福島県



略 歴 ● 令和2年 福島県立医科大学卒業

総合診療科でお世話になります吉野と申します。よろしくお願い致します。

早く白河での職務に慣れるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

はじめまして!

研修医です



研修医

川島里菜子 (かわしま りなこ)

【出身地】東京都



趣味・娯楽 ● 旅行、カフェ巡り、星座占い
出身大学 ● 福島県立医科大学卒業

これから2年間お世話になります。総合診療に興味があります。先生方、他の医療職の皆さまのお力を頂きつつ、患者さんにとって良い医療が届けられるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

研修医

佐々木 祥 (ささき しょう)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● ゴルフ
出身大学 ● 獨協医科大学卒業

新型コロナウイルスの流行で世間が暗くなっている中、白河市を少しでも明るくできる「おひさま」のような医師になれるように、1人だけでなく仲間とともに頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

研修医

鈴木 紅音 (すずき あかね)

【出身地】静岡県



趣味・娯楽 ● ヴァイオリン・野球観戦・ボードゲーム
出身大学 ● 東北医科薬科大学卒業

東北医科薬科大学を一期生として卒業した鈴木紅音と申します。憧れの白河厚生総合病院で研修させていただくことになり、とても嬉しいです。まだまだ未熟者ですが、精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

研修医

戸倉 幸大 (とくら ゆきひろ)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● ボルダリング
出身大学 ● 山形大学卒業

白河市大信地区出身の戸倉幸大と申します。1日でも早く医師として成長し、地域の皆様の力になれるよう精一杯頑張りたいと思います。2年間どうぞよろしくお願い致します。

研修医

長島 智里 (ながしま ちさと)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 料理・ピアノ・アニメ鑑賞
出身大学 ● 福島県立医科大学卒業

初めまして!いわき市出身の長島智里と申します。「やる気・元気・根気」をモットーに明るく元気に頑張りたいと思います。2年間の研修が実りあるものになりますよう日々精進致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

研修医

吉田 帆南 (よしだ ほなみ)

【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 旅行
出身大学 ● 福島県立医科大学卒業

はじめまして、吉田帆南と申します。白河市出身です。小さい頃から慣れ親しんだこの街に帰ってくるのができとても嬉しく思います。地元で貢献できる医師になれるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

ピロリ菌とは

通常の菌は胃の中に生息できません。しかし*Helicobacter pylori*（以下**ピロリ菌**）は胃の粘膜に生息することができる悪い菌で、主に胃や十二指腸などの病気の原因になります。

子供の頃に感染し、一度**ピロリ菌**感染すると多くの場合、除菌しない限り胃の中に棲みつづけます。**ピロリ菌**に感染すると、胃壁などに炎症が起こりますが、この時点では症状のない人がほとんどです。しかし感染状態が続くと感染範囲が「胃の出口」の方から「胃の入口」の方に広がり、慢性胃炎（ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎）が進行します。この慢性胃炎は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、萎縮性胃炎、胃癌、さらには全身的な病気などを引き起こすおそれがあることが近年の調査研究で明らかになってきています。



ピロリ菌の感染経路

ピロリ菌はどのような経路で、いつ胃の中に入り込むのでしょうか？

実は、どのような感染経路であるかはまだはっきりわかっていませんが、口から入れば感染することは間違いないようです。そして大部分は飲み水（特に井戸水）や食べ物を通じて、人の口から体内に入ると考えられています。

ピロリ菌は、ほとんどが5歳以下の幼児期に感染すると言われています。幼児期の胃の中は酸性が弱く、ピロリ菌が生き延びやすいからです。そのため最近では母から子へなどの家庭内感染が疑われていますので、ピロリ菌に感染している大人から小さい子どもへの食べ物の口移しなどには注意が必要です。



ピロリ菌と胃の症状

「胃に負担をかけすぎたかな」や「加齢現象でおこるものだ」と思い込んで胃の状態を放置していませんか？ また、「ただの胃炎だろう」と思って自己診断していませんか？ 胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍の患者さんは、ピロリ菌に感染していることが多く、慢性胃炎の発症の原因や、潰瘍の再発に関係していることがわかっています。そして、このピロリ菌は一週間の服薬による「除菌療法」で根治することができますので、一度病院で相談してみることをお勧めします。



ピロリ菌の検査ってどんなのがあるの？

ピロリ菌の検査には、「内視鏡を使う方法」と「内視鏡を使わない方法」があります。内視鏡を使う方法には、①迅速ウレアーゼ試験②鏡検法③培養法があり、内視鏡検査より採取した胃の組織を使い検査します。一方内視鏡を使わない方法には、①抗体測定②尿素呼吸試験③便中抗原測定があり、患者さんの身体的負担が少ない検査方法です。当院で



は、内視鏡を使わない方法の『**尿素呼吸試験**』を実施しております。この検査で、ピロリ菌に感染していることが証明された場合は、お薬の服用による『除菌療法』を受けることとなります。

除菌療法

ピロリ菌の除菌療法は、2種類の「抗菌薬」と「胃酸の分泌を抑える薬」の合計3剤を服用します。1日2回、7日間服用する治療法です。**正しくお薬を服用すれば除菌療法は約75%の確率で成功します。**除菌の際に注意することは、①きちんと朝晩2回お薬を服用し除菌療法終了後4週間以上経過してから除菌ができているかを必ず確認しましょう。②除菌期間中はアルコール摂取（飲酒）を避けて下さい。



最後に

日本人のピロリ菌感染者の数は約3,500万人と言われています。日本ヘリコバクター学会では、ピロリ菌感染者のすべてに除菌療法を受けることが強く勧められています。胃の調子が悪く胃炎などの症状がある方は、ピロリ菌検査の必要性があるかどうか、一度主治医に相談してはいかがでしょうか？

NEWS

01

第59回 卒業証書授与式

令和4年3月2日

専任教員
芳賀 洋平

令和4年3月2日(水)第59回卒業証書授与式が、新型コロナウイルス感染症対策をとり規模を縮小し、開催されました。

卒業生34名は、学業生活や実習等に制限のある中、苦難を乗り越え卒業式を迎えることができ、前原和平学院長から一人ひとりに卒業証書が授与されました。学院長が「4月からは強い心と和顔愛語の精神を持って、看護師としてスタートして下さい」と式辞を述べました。在校生代表の鈴木翔大さんが送辞を送り、卒業生代表の宗像千愛さんが答辞を述べました。また、学院長賞、福島県医師会長賞、優秀賞、皆勤賞及び精勤賞にて合計14名が表彰されました。式典後には、新たな希望を胸にした卒業生の笑顔が溢れていました。



NEWS

02

初期研修医修了認定式

臨床研修センター 高橋 理恵

研修医は2年間の研修における到達目標の達成を申告し、臨床研修委員会がその実績を調査し、到達目標の達成度を確認し修了を認定します。

2022年3月18日(金)、無事6名全員の研修修了が認定され、大木院長から研修修了証を受け取りました。寂しくはありますが、ひとまわりもふたまわりも大きくなったみなさんに会える日を楽しみにしています。2年間本当にお疲れ様でした。



NEWS

03

病院機能評価認定

令和3年10月に、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、2度目の更新認定を受けることができました。

機能評価機構から、「病院理念を具現化するための多職種連携・チーム医療の実践、現場での創意・熱意を確認することができた」と評価して頂きました。

今後もより質の高い医療の提供に尽力し、地域を守り地域の皆様に愛される病院を目指します。





在宅訪問診療、始めました！

白河厚生総合病院総合診療科 宮下 淳

2015年に白河厚生総合病院に総合診療科（福島県立医科大学総合診療アカデミー）が開設されて、7年が過ぎました。総合診療科は外来診療や入院診療に加えて、救急診療にも積極的に関わってきました。2021年度の年間救急車受け入れ台数は3500台を越え、この7年間で年間受け入れ台数が1000台以上も増えました。この2年間はコロナ禍で病院の診療制限をかけざるを得ない状況がつつきましたが、総合診療科をはじめすべての科が急病で苦しむ地域の患者さんになるべく断らずに受け入れようと努力を続けた結果と考えています。

そして、総合診療科では今年度からさらにもう一つ、地域に密着した活動を始めることになりました。在宅訪問診療です。

日本は高齢者の割合が世界で最も多い国となりました。さらに団塊の世代が後期高齢者となる2025年がもう目の前に迫ってきています。そして誰もがいつの日か人生の最期を迎えることになります。近年の全国調査では、60%程度の方が「人生の最期は自宅で迎えたい」と希望していると報告されていますが、8割以上の方が医療機関で亡くなれているのが現状です。私自身この7年間白河で人生の最終段階を迎えた患者さんをたくさん診療してきました。その中で、何度も入退院を繰り返しながら癌の闘病生活をされている患者さんがいました。その患者さんは徐々に人生の最終段階に近づいていましたが、少しでも長く自宅で過ごすことができるように、毎週私の外来にきてもらって診察して症状のチェックを行い、患者さんの家族ともコミュニケーションをとっていました。しかしその患者さんは、病状が急に悪化して救急搬送され、私の担当でない日に救急外来でお亡くなりになりました。このとき私は、家族に見守られながら自宅で最期の瞬間を迎えられるようにサポートすることができなかったことを悔やみました。その頃から自宅で最期を迎えることができるサポート体制の構築に取り組みたいと思うようになりました。そして、ついに今年度から総合診療科は在宅訪問診療を行う体制が整いました。白河地域では、これまで数人の先生方が在宅医療を支えて下さっておられましたが、在宅診療の需要に追いつかない状況でした。そのような状況の中、私たち白河厚生総合病院総合診療科も白河地域での在宅診療の一翼を担うこととなりました。

医師と看護師、介護・福祉の専門家らによる医療・ケアチームがしっかりとお互いに連携をとりながら、患者さんとその家族をサポートする体制を構築することで、自宅で最期を迎えたいという患者さんの希望をかなえることが可能になるという研究結果が日本から発表されています。私たちは、地域包括支援センターや訪問看護ステーションとしっかりと連携をとりながら在宅診療を行い、自宅で人生の最期を迎えたいと考える患者さんの希望がかなうようにサポートしていければと考えています。